

カメラスタンドを使って記念写真を撮ろう！

「全員で記念写真を撮りたいけど、撮る人が写真に入れない」という残念な経験はありませんか。江の島内には、9ヶ所にカメラスタンドを設置しています。皆さんのデジタルカメラやカメラ機能付き携帯を置いて、タイマー撮影すると、素敵な記念写真が撮影できます。

*カメラスタンドは地図中のこの表示場所にあります！



「キュンとするまち。藤沢」公式マスコットキャラクター ふじキュン♡
江の島の帽子とヨットの耳がチャームポイント。夢は藤沢を世界一有名なまちにすること。

「キュンとするまち。藤沢」ロゴマーク
暮らすだけで、訪れるだけで、「キュン」とするまち、それが藤沢です。



江の島 1day パスポート eno=PASS

大人で360円 お得 江の島 めぐりに お得!!

江の島内の人気スポットが1日何度でも出入り自由！

大人1,000円 小人500円 ※この他にも観光施設や飲食店、土産品店での割り引きも多数あります

江の島エスカー (上り専用) **江の島シーキャンドル (展望灯台)** **江の島岩屋**

販 片瀬江の島観光案内所、藤沢市観光センター
江の島エスカー1区券販売所

31 ①寂光山龍口寺 ②龍の口刑場跡 ③仏舍利塔

①日法上人が建立した日蓮宗門跡の一の靈跡寺院です。境内の奥には明治43年(1910年)建立の五重塔がそびえています。大本堂、大客殿、五重塔はみな石造りであります。
②立正安國論を唱え幕府批判をしたことにより裁判を経て囚禁されそうになりましたが、役人が刀を振り路ろそうとした時雷鳴轟き光り物が来襲、日蓮を救いました。土牢で夜明けを待ち佐渡へ流されました。毎年9月12日には龍口法難会が盛大に行なわれます。

駐輪場(無料)
Fujisawa Free Wi-Fi
AED設置場所

③日蓮聖人法難700年を記念して日本山妙法寺より寄進されたバゴタ型の白塔です。中にはお釈迦様の骨が奉安されています。ここは、江の島全県が眺められる景勝地でもあります。



32 新江ノ島水族館

目の前に広がる相模湾を再現した大水槽では、銀色に輝く8,000匹のマイワシの群れをご覧いただけます。また、世界初の生きたシラスの展示や美しく幻想的なクラゲ展示、ウミガメの浜辺など見どころが満載。イルカ・アシカショー、クラゲショー、ペンギンショーも毎日楽しめます。



駐車場(有料) ※料金や収容台数等の詳細は記載のホームページをご参照ください。

P1 県営片瀬海岸地下駐車場
TEL.0466(24)0425
9:00~18:00 土日祝 7:00~19:00 7月 7:00~21:00

P2 江ノ電駐車センター
TEL.0466(23)2441
4:00~23:00

P3 藤沢市片瀬東浜駐車場
TEL.0466(55)6514
24時間

P4 県営江の島なぎさ駐車場
TEL.0466(29)6574
7:30~21:00 7~8月 6:00~21:00

P5 観光協会江の島駐車場
TEL.0466(26)2711
24時間 ※江の島への車道橋は22:00~5:00閉鎖

P6 県営湘南港臨港道路附属駐車場
TEL.0466(22)2128
5:00~21:30

藤沢市観光センター 藤沢市片瀬海岸2-20-13 TEL.0466(22)4141
藤沢市片瀬江の島観光案内所 藤沢市片瀬海岸1-14-8 TEL.0466(24)4141
http://www.fujisawa-kanko.jp 藤沢市観光 検索

えのしまじんじやごちんざきねんりゅうとうろう

■ 江島神社御鎮座記念龍燈籠

江の島は弁財天と五頭龍の伝説がある島です。この龍燈籠は「江島縁起」による江の島湧出の時から数え1450年を記念に平成13年(2001年)に建てられました。さあ、ここから江の島周遊の旅に出発、潮風と一緒に周りましょう。

え しまべんなんぱし

■ 江の島弁天橋 (橋長389m)

初めて江の島に木橋がかかるのは明治24年(1891年)のことでした。それまでは舟か人足の舟負いに頼るしかなかったそうです。車道の江の島大橋(橋長324m)は、昭和39年(1964年)に開催された東京オリンピックに合わせて造られたものです。

きねんひ

■ モース記念碑

大森貝塚の発見者として知られるエドワード・S・モース博士は江の島に東洋初の臨海実験所を開設し、わずか1ヶ月の滞在で多くの海洋生物を研究しました。

江の島は、我が国の海洋生物学の発祥の地とも言えます。

え しま

■ 江の島ヨットハーバー

第18回オリンピック競技大会(1964/東京)のヨット競技が開催された際に造られた、日本で初めての競技用ハーバーです。東京2020オリンピック競技大会において、またセイリング競技が開催されます。江の島ヨットハーバーには約1,000隻のヨットが収容されており、2014年6月に新しい江の島湘南港ヨットハウスも完成し、セーリングを楽しむ人々で賑わっています。センター・プロムナードには、さざえ島やタイドプールなどの親水施設が整備され、誰もが気軽に海を感じることができるものとなっています。

せいどうとりい

■ 青銅の鳥居

江の島の入口に建つ青銅の鳥居は、市指定文化財です。文政4年(1821年)に再建されたものですが、両柱には多くの寄進者名が彫られ江戸時代の信仰の広さを今に伝えてくれています。掛けられた額に記されているのは江の島大明神。鳥居をくぐると土産物屋さんが立ち並ぶ賑やかな参道に続きます。道巾は昔も今も変わっていません。

ながのせんさんくひ

■ 永野泉山の句碑

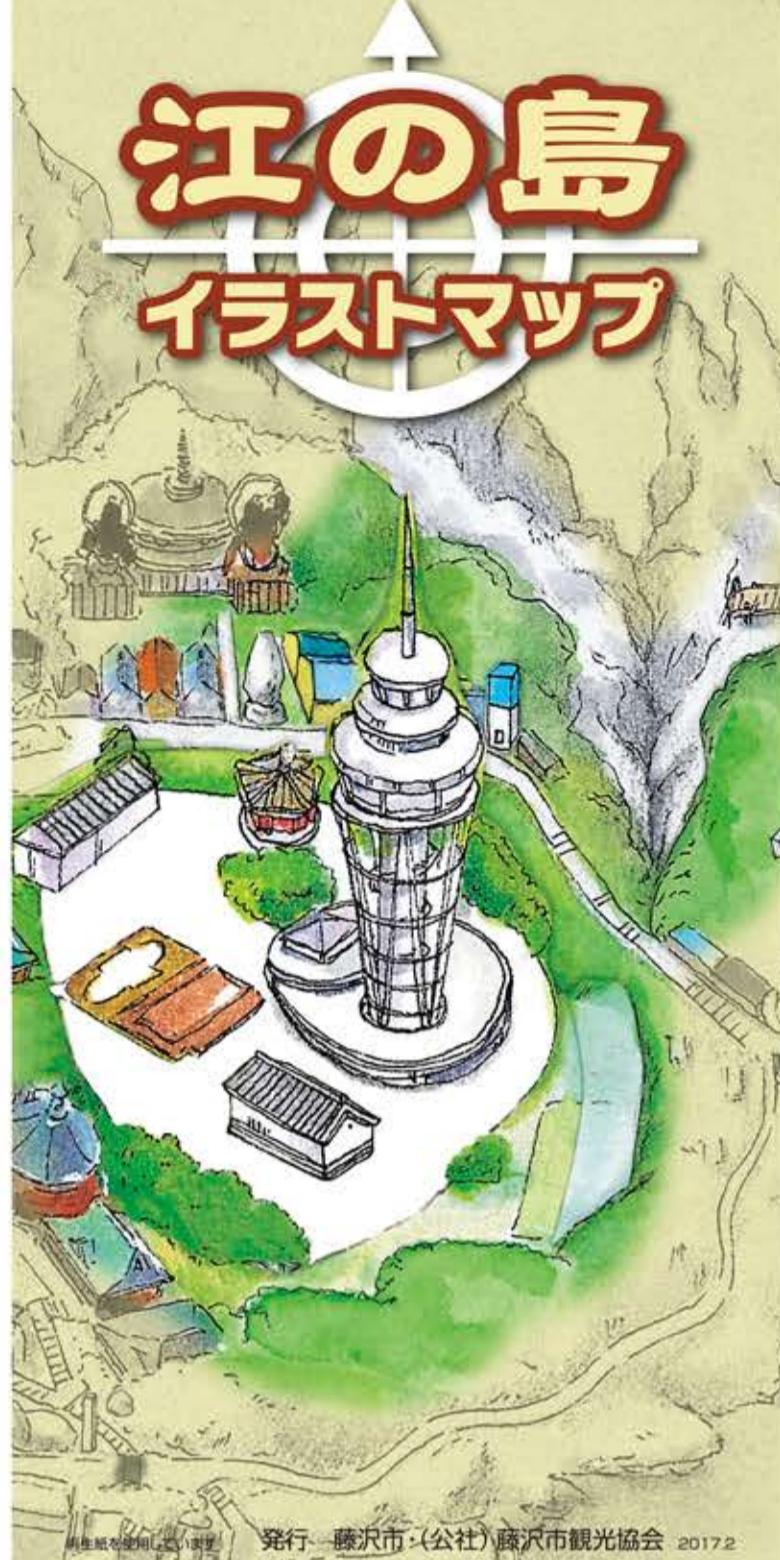
「住みなれ 周てもすずしや 島の月」(恵比寿屋)
「明治子にもどることしやいわひきぬ」(辺津宮参道)
島内に2つの句碑があります。

明治期の江の島俳壇の中心人物です。

きゅういもといん いわむとこう

■ 旧岩本院(岩本楼)

江戸時代までは岩本院と言われ、弁天社の本宮をあすかつた一山の總別当とも言われる由緒ある院でした。弁天信仰が盛んだった江戸時代には、勅使、將軍、大名などの宿泊所として栄えました。ちなみに歌舞伎の白浪五人男に登場する弁天小僧は、岩本院の稚児がモデルであると言われています。



すきやまけんぎょう はか

■ 杉山検校の墓

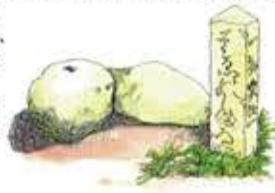
杉山検校は、本名を杉山和一という江戸時代の鍔師です。五代将軍綱吉の病気を治して関東總檢校の地位を得ましたが、その時使った鍔術は江の島弁財天から授かったと伝えられています。お礼に三重の塔を建てたなど弁財天とは縁の深い人物です。



ふくいし え しまべんさいてんどうひょう

■ ①福石 ②江の島弁財天標

①ここで石につまづき転んだ盲目的杉山和一は、その後、偶然に拾った竹筒に松葉が入っていたことから管鍔術を考案して、後に関東總檢校にまで出世しました。以後、ここで物を拾うと幸運を授かると伝えられ、福石と呼ばれるようになりました。②石柱は、和一が建てた江の島弁財天標です。



えのしまじんじや へつのみや

■ 江島神社(辺津宮)

島内にある三つの宮=辺津宮・中津宮・奥津宮を総称して江島神社と呼び、それぞれの宮には、海の守護神である女神が祀られています。辺津宮は、田寸津比賣命(タギツヒメノミコト)が祀られています。良真が在位したのですが、現在の社殿は昭和51年(1976年)に改修されたものです。



ほうあんでん

■ 奉安殿

はながべんせいてん みょうおんべんせいてん はっぴべんせいてん
裸弁財天(妙音弁財天)・八臂弁財天

江の島弁財天は、安芸の宮島、近江の竹生島と並び、日本三大弁財天の一つに数えられるほか、七福神の紅一点としても人々の信仰を集めています。鎌倉時代には戦勝祈願(八臂像)、江戸時代から芸能・音曲上達祈願(二臂像)と信仰目的が変わってきました。奉安殿は平成27年(2015年)に改修されました。(拝観料有)



■ ②与謝野晶子の歌碑

かわせのよしこ

歌碑

歌碑